

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間：2023 年 4 月～2024 年 3 月

作成日：2024 年 4 月 30 日



リサイクル・システムを構築する

株式会社 **エコライフ**

目次

1. 組織の概要	2
2. 認証・登録の対象組織・活動	2
3. 事業の詳細概要.....	3
4. 環境負荷の状況 2023 年度（2023 年 4 月～2024 年 3 月）	5
5. 環境経営方針	6
6. 環境経営管理体制.....	7
7. 環境経営目標及び環境活動計画	8
8. 環境活動計画及びその実績	9
9. 環境活動計画の取組結果とその評価.....	1 1
1 0. 環境・社会貢献活動への取り組み.....	1 2
1 1. 次年度の環境経営目標及び環境活動計画.....	1 3
1 2. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟 などの有無	1 4
1 3. 代表者による全体の評価と見直し.....	1 4

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社エコライフ

代表取締役 馬渡 有弘

(2) 所在地

本 社 ・ 駐車場：千葉県千葉市稲毛区長沼原町 335 番地 1

成田リサイクル工場：千葉県成田市南羽鳥字松ヶ下 570 番 50

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者及び連絡担当者

取締役 鈴木 洋文 TEL：043-441-7767(本社)

(4) 事業内容

食品容器の回収・販売

一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物の中間処理

(5) 事業の規模

会社設立：1998 年 4 月

資本金 ：1,300 万円

売上規模：28,285 万円（2023 年 5 月～2024 年 4 月）

廃棄物処理事業実績：5 ページ『4. 環境負荷の状況』に記載

	単位	本社・駐車場	成田リサイクル工場	合計
従業員	正社員(人)	12	1	13
	パート(人)※	0	11	11
敷地面積	m ²	1,791	3,648	5,439

※パート・アルバイトはフルタイムではありません。

2. 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録範囲は全組織、全活動とする。

認証・登録事業者名：株式会社エコライフ

対象事業所：本社・駐車場

成田リサイクル工場

活 動 ：食品容器の回収・販売

一般廃棄物及び産業廃棄物収集運搬業

産業廃棄物の中間処理

3. 事業の詳細概要

(1) 産業廃棄物処分(中間処理)業

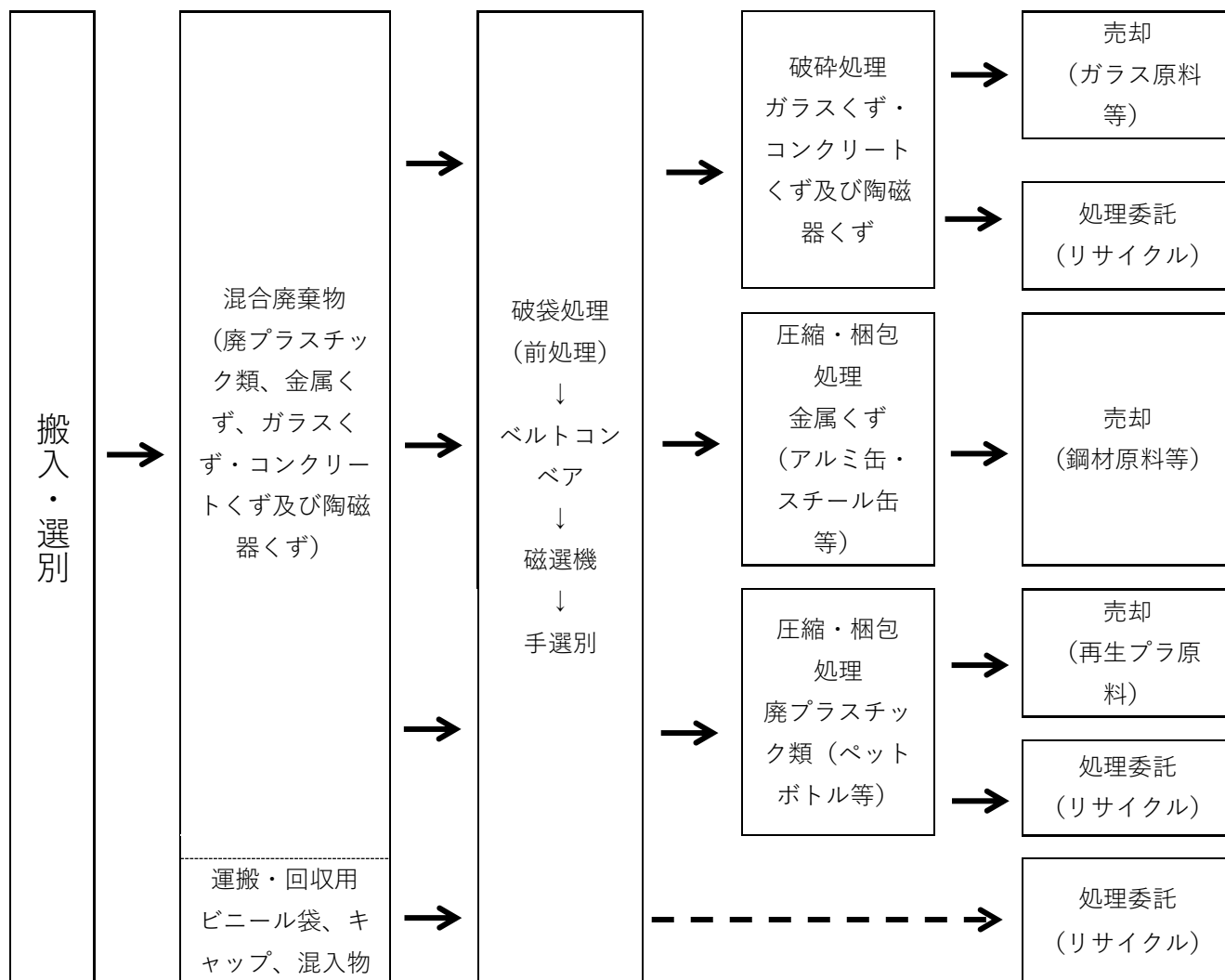
項目	許可の概要		
許可番号	第 01220055315 号		
新規許可年月日	平成 25 年 6 月 25 日		
有効期限年月日	令和 10 年 6 月 24 日		
処理方法	破碎、圧縮・梱包による中間処理		
取扱品目 (自動車等破砕物 及び特別管理産業 廃棄物を除く)	破碎による中間処理：ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		
	圧縮・梱包による中間処理：廃プラスチック類、金属くず		
項目	内容	数量	処理能力
施設の種類及び 処理能力 (1 日 9 時間)	破碎施設(ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	1	5.40 t / 日
	圧縮梱包施設(廃プラスチック類)	1	2.70 t / 日
	圧縮梱包施設(金属くず：スチール缶)	1	2.34 t / 日
	圧縮梱包施設(金属くず：アルミ缶)	1	1.17 t / 日

廃棄物処理施設の所在地(保管場所) 千葉県成田市南羽鳥字松ヶ下 570 番 50

項目	内容	数量	保管面積	保管容量
施設の種類 及び保管量	処理前廃棄物保管施設 (廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	1	83.m2	130 m3
	処理前廃棄物保管施設 (廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	1	96 m2	236 m3
	処理前廃棄物保管施設 (廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	1	44 m2	78 m3
	処理前廃プラスチック類保管施設	1	9.8 m2	8.2 m3
	処理前ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず保管施設	2	9.8 m2	8.2 m3
	圧縮梱包処理後廃棄物保管施設(金属くず)	1	22 m2	78 m3
	圧縮梱包処理後廃棄物保管施設(金属くず)	1	15 m2	53 m3
	圧縮梱包処理後廃棄物保管施設(金属くず)	1	29m2	102 m3
	圧縮梱包処理後廃棄物保管施設(廃プラスチック類)	1	24m2	85 m3
	処理後ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず保管施設	1	9.8 m2	8.2 m3
	処理後廃プラスチック類保管施設	1	54 m2	163 m3
	廃プラスチック類保管施設 (コンテナ保管)	3	6.8 m2	13.0 m3
	廃プラスチック類保管施設 (コンテナ保管)	2	6.6 m2	7.0 m3
	残さ保管施設 (コンテナ、フレコンバック、プラスチック容器、ペール缶保管)	1	32m2	7.4m3

(2) 処理工程図

【成田リサイクル工場リサイクルフロー】※産業廃棄物処理フロー



(3) 重機 (成田リサイクル工場)

ヒンジフォークリフト	2 台
クランプフォークリフト	1 台
フォークリフト	1 台

(4) 古物商

千葉県公安委員会 登録番号 441420001775

(5) 一般廃棄物収集運搬業

許可行政	許可番号	許可日	有効期限	業種
四街道市	第 28 号	令和 6 年 4 月 1 日	令和 8 年 3 月 31 日	一般廃棄物 (し尿、浄化槽汚泥を除く) の収集・運搬

(6) 産業廃棄物収集運搬業(積替え保管を除く)

許可 行政	許可番号	許可の 年月日/ 有効期 限年月 日	許可品目												
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣
東京都	13-00-055315 (※1、3)	R3.3.9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R8.3.8													
千葉県	01200055315	H30.9.8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R10.9.7						※ 2、3	※ 2、3	※ 2、3					
神奈川県	01400055315	R2.4.24	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R7.4.23													
埼玉県	01100055315	H30.6.21	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R10.6.20						※ 2、3	※ 2、3	※ 2、3					
茨城県	00801055315	H30.5.23	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		R10.5.22						※ 2、3	※ 2、3	※ 2、3					

※1 石綿含有廃棄物を含む

※2 自動車等破砕物を除く

※3 水銀使用製品産業廃棄物を含む

(7) 収集運搬車両

塵芥車(パッカー車)	6 台
アームロール車	2 台
4t 平ボディー車	1 台
ワンボックス車 (軽)	1 台

4. 環境負荷の状況 2023 年度 (2023 年 4 月～2024 年 3 月)

活動規模	単位	実績
産業廃棄物処理量	ト ン	1,472
産業廃棄物収集運搬量	ト ン	3,246
一般廃棄物収集運搬量	ト ン	4.16
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	246,755

※二酸化炭素排出係数は令和 3 年度東京電力エネルギーパートナー0.457kg-CO₂/kWh (調整後) を使用

5. 環境経営方針

株式会社エコライフ

環 境 経 営 方 針

株式会社エコライフは、本業である廃棄物のリサイクル業を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。また、これからも業務を通じてリサイクルの価値を更に高め、当社に関連する環境関連法規を遵守し、循環型社会の構築の為に以下の環境目標に取り組みます。当社は環境経営システムの継続的改善に努めます。

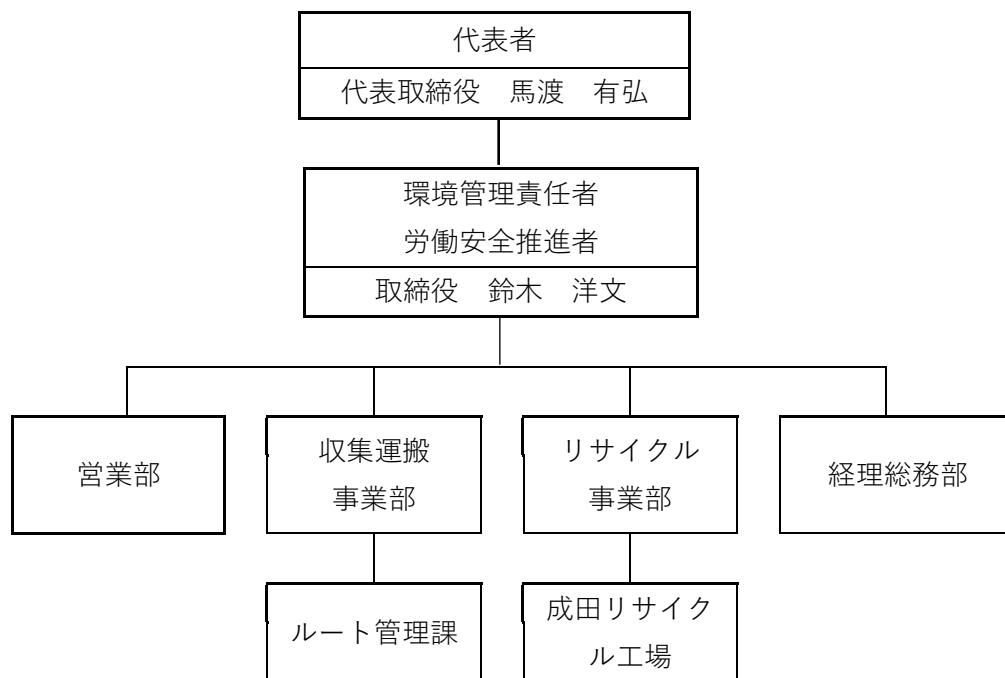
1. 環境関連法規制及び当社が同意した業界等の行動規範を遵守します。
2. 排出事業者とともに再資源化方法の検討や、当社の選別・適正処理業務を向上させることにより、受入れ廃棄物のリサイクルを促進します。
3. 工場の省エネ対策、車両のエコドライブを促進し、二酸化炭素の排出量を抑制します。
4. 自社からの廃棄物の排出を抑制します。
5. 産業廃棄物処理事業におけるリサイクルの推進を行います。
6. 節水管理により、水使用量の抑制に取り組みます。
7. 地域清掃活動への積極的に参加します。
8. 環境経営方針は、全従業員に周知するとともに公表します。

制定日： 2015 年 5 月 30 日

改定日： 2020 年 5 月 31 日

代表取締役社長 馬渡 有弘

6. 環境経営管理体制



	役割・責任・権限
代表者（社長）	環境管理及び労働安全に関する統括責任 環境経営システム及び労働安全の実施に必要な人、設備、費用、時間等を準備 環境管理責任者を任命 労働安全推進者の選任 環境・安全方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境関連法規等の取りまとめ表の承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境教育の実施 環境関連法規等の取りまとめ表の作成 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの作成
労働安全推進者	労働安全衛生委員会の開催 労働安全教育の実施 緊急事態・労働災害事故対応訓練
営業部	既存顧客対応、新規顧客開拓など業務全般
経理総務部	経理業務、人事、労務管理、その他付帯する業務全般 契約書、マニフェスト管理
収集運搬事業部	収集運搬に関する業務全般
リサイクル事業部	成田リサイクル工場における産業廃棄物処理業務
全従業員	環境・安全方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動及び事故防止活動へ参加

7. 環境経営目標及び環境活動計画

2023年5月改定

環境経営目標	責任部門 責任者	基準値 (2022 年度)		年度毎環境経営目標・環境活動計画		
				2023 年度	2024 年度	2025 年度
1 電力二酸化炭素排出量削減	環境管理 責任者 鈴木洋文	32,649 kg-CO2 (電力) ※CO2 係数は下段表記	基準比	基準年度以下	基準年度以下	基準年度以下
			目標値	32,649kg-CO2	32,649kg-CO2	32,649kg-CO2
		データ集計	環境活動計画	・処理作業効率化の推進 ・エアコン調整による室温管理、服装選び	・処理作業効率化の推進 ・エアコン調整による室温管理、服装選び	・処理作業効率化の推進 ・エアコン調整による室温管理、服装選び
			環境活動計画	産業廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量（電力）の把握	2023 年度基準で目標設定予定	2023 年度基準で目標設定予定
2 車両軽油燃料二酸化炭素排出量削減	環境管理 責任者 鈴木洋文	200,304 kg-CO2 (軽油) ※CO2 係数は下段表記	基準比	基準年度以下	基準年度以下	基準年度以下
			目標値	200,304kg-CO2	200,304kg-CO2	200,304kg-CO2
			環境活動計画	・効率的なルートで収集 ・エコドライブの推進	・効率的なルートで収集 ・エコドライブの推進	・効率的なルートで収集 ・エコドライブの推進
3 二酸化炭素排出量削減	環境管理 責任者 鈴木洋文	247,849 kg-CO2 (電力、ガソリン、軽油、灯油) ※CO2 係数は下段表記	基準比	基準年度以下	基準年度以下	基準年度以下
			目標値	247,849kg-CO2	247,849kg-CO2	247,849kg-CO2
			環境活動計画	・電気使用量削減 ・エコドライブ推進	・電気使用量削減 ・エコドライブ推進	・電気使用量削減 ・エコドライブ推進
4 一般廃棄物の削減	環境管理 責任者 鈴木洋文	1,077kg	基準比	99%	98%	97%
			目標値	1,066 k g	1,055 k g	1,045 k g
			環境活動計画	・分別の実施	・分別の実施	・分別の実施
5 中間処理後産業廃棄物の削減	環境管理 責任者 鈴木洋文	78.57 トン	基準比	99%	98%	97%
			目標値	77.78 トン	77.00 トン	76.21 トン
			環境活動計画	・回収時の混入チェック ・搬入時の展開検査、分別実施	・回収時の混入チェック ・搬入時の展開検査、分別実施	・回収時の混入チェック ・搬入時の展開検査、分別実施
6 産業廃棄物収集運搬量拡大	環境管理 責任者 鈴木洋文	3,428 トン	基準比	基準年度以上	基準年度以上	基準年度以上
			目標値	3,428 トン	3,428 トン	3,428 トン
			環境活動計画	新規受注及び収集運搬会社へのアプローチ	新規受注及び収集運搬会社へのアプローチ	・新規受注及び収集運搬会社へのアプローチ

環境経営目標	責任部門 責任者	基準値 (2022 年度)		年度毎環境経営目標・環境活動計画		
				2023 年度	2024 年度	2025 年度
7 節水	環境管理 責任者 鈴木洋文	管理目標	目標	洗車水の適正利用	洗車水の適正利用	洗車水の適正利用
8 地域清掃活動	環境管理 責任者 鈴木洋文	管理目標	目標	地域清掃活動への積極的に参加	地域清掃活動への積極的に参加	地域清掃活動への積極的に参加

※二酸化炭素排出係数

電力：令和 3 年度東京電力エナジーパートナー0.457kg-CO2/kWh（調整後）、

ガソリン：2.32kg-CO2/L、軽油：2.58kg-CO2/L、灯油：2.49kg-CO2/L

注 1・・・化学物質（PRTR 制度対象）の使用は無いため目標設定していません。

8. 環境活動計画及びその実績

2023 年度（2023 年 4 月～2024 年 3 月）目標及び実績をまとめたものです。

環境目標	責任部門 責任者	基準値 (基準年度)	環境経営目標及び実績	
			2023 年度目標	実績／評価
1 電力の 二酸化 炭素排 出量削 減	環境管理 責任者 取締役 鈴木洋文	32,649 kg-CO2 (2022 年度) ※CO2 係数 は下段表記	基準比：100%（基準年度以下） 目標値：32,649kg-CO2	32,900kg-CO2 (未達成)
			環境活動計画： ・処理作業効率化の推進 ・エアコン調整による室温管理、服装選び	2024 年 2 月からペットボトル用圧縮機が入れ替えとなったため、電気使用量が増加傾向にある。また、夏場のエアコン使用が増加し、わずかに未達成となった。処理作業の効率化、エアコンの適正使用については継続して実施している。
			産業廃棄物処理量あたりの二酸化炭素排出量（電力）の把握	年度実績 48.91kWh/トン 数値が把握できた。（次年度の目標設定は、圧縮機入替後実績平均値 60.23kWh/トン）
2 車両軽 油燃料 の二酸 化炭素 排出量 削減	環境管理 責任者 取締役 鈴木洋文	200,304 kg-CO2 (2022 年度) ※CO2 係数 は下段表記	基準比：100%（基準年度以下） 目標値：200,304kg-CO2	202,303 kg-CO2 (未達成)
			環境活動計画： ・効率的なルートで収集 ・エコドライブの推進	収集運搬量は減少しているが、重機使用の軽油使用量が増加し未達成となった。対策として、アイドリングストップの徹底について朝礼時に周知した。 古くなった塵芥車（パッカー車）2 台、アームロール車 1 台を入れ替え、環境投資により燃費改善を推進した。

環境経営目標	責任部門 責任者	基準値 (基準年度)	環境経営目標及び実績	
			2023 年度目標	実績／評価
3 二酸化炭素排出量削減	環境管理 責任者 取締役 鈴木洋文	247,849 kg-CO2 (2022 年度) (電力、ガソリン、軽油、灯油) ※CO2 係数は下段表記	基準比：100% (基準年度以下)	246,755 kg-CO2 (達成)
			目標値：247,849kg-CO2 環境活動計画： ・電気使用量削減 ・エコドライブ推進	電力使用量及び燃料使用量が増加した。灯油は事務所棟 1 階で休憩できるようになり、休憩場所が移動したことでストーブ使用が削減できた。結果として、二酸化炭素排出量はわずかに達成となった。
4 一般廃棄物の削減	環境管理 責任者 取締役 鈴木洋文	1,077 kg (2022 年度)	基準比：99%	960 kg (達成)
			目標値：1,066 k g 環境活動計画： ・分別の実施	分別徹底により目標達成となった。なお、分別箱を設置し、分別の徹底を継続している。
5 中間処理後産業廃棄物の削減	環境管理 責任者 取締役 鈴木洋文	78.57 トン (2022 年度)	基準比：99%	78.63 トン (未達成)
			目標値：77.78 トン 環境活動計画： ・回収時の混入チェック ・搬入時の展開検査	混合廃棄物（ビン、缶、ペットボトル）の袋に混入物が入っていることがあるため、受入検査を徹底し、混入物の返却を推進し、廃棄物排出量の削減に取り組んだがわずかに未達成となった。
6 産業廃棄物収集運搬量の拡大	環境管理 責任者 取締役 鈴木洋文	3,428 トン (2022 年度)	基準比：100%	3,246 トン (未達成)
			目標値：3,428 トン 環境活動計画： ・新規受注及び収集運搬会社へのアプローチ	業界全体のビン、缶、ペットボトルの排出が減っており、新規顧客もあったが、目標出来なかった。
7 節水	環境管理 責任者 取締役 鈴木洋文	管理目標	環境活動計画	洗車水の適正使用が出来た。
			洗車水の適正利用	
8 地域清掃活動の参加	環境管理 責任者 取締役 鈴木洋文	管理目標	環境活動計画	成田市主催のゴミ拾いイベントについて、コロナによる延期もあったが開催時には参加している。
			地域清掃活動への積極的に参加	

※二酸化炭素排出係数

電力：令和 3 年度東京電力エネルギーパートナー0.457kg-CO2/kWh（調整後）、

ガソリン：2.32kg-CO2/L、軽油：2.58kg-CO2/L、灯油：2.49kg-CO2/L

注 1・・・化学物質（PRTR 制度対象）の使用は無いため目標設定していません。

9. 環境活動計画の取組結果とその評価

環境経営 目標項目	責任部門 責任者	環境活動計画	評価※	コメント
1 電力の二 酸化炭素 排出量削 減	環境管理責任者 取締役 鈴木 洋文	処理作業効率 化の推進	5	処理効率を考慮し計画的に処理を行った。 2024年2月からペットボトル用圧縮機 の入れ替えし、処理効率向上に取り組んだ
		エアコン調整 による快適な 室温管理、服 装選び	4	本社、成田リサイクル工場の事務所にエ アコン設定温度を掲示し、省エネ活動に取り 組んだ。クールビズ等の取り組みができた。
2 車両軽油 燃料の二 酸化炭素 排出量削 減	環境管理責任者 取締役 鈴木 洋文	効率的なルー トで収集	4	月に1回収集コースを見直しており、効率 的な回収作業ができた。
		エコドライブ の推進	5	停車時のアイドリングストップの徹底や急 発進急ブレーキが徹底できた。また、エコド ライブ意識の向上が見られた。 古くなった塵芥車（パッカー車）2台、ア ームロール車1台を入れ替え、環境投資によ り燃費改善を推進した。
3 二酸化炭 素排出量 削減	環境管理責任者 取締役 鈴木 洋文	電気使用量削 減	4	処理効率に配慮し、処理ラインを稼働でき た。
		エコドライブ の推進	4	停車時のアイドリングストップの徹底や急 発進急ブレーキの徹底を推進している。ま た、エコドライブの声掛けを行っている。
4 一般廃棄 物の削減	環境管理責任者 取締役 鈴木 洋文	分別の実施	4	分別ごみ箱を設置し廃棄物の資源化を目指 し分別を推進した。
5 中間処理 後産業廃 棄物の削 減	環境管理責任者 取締役 鈴木洋文	回収時の混入 チェック	3	回収時に目視確認を徹底し、混入物があれ ばその場で排出事業者へ報告することで、 混入物の削減に取り組んでいる。
		搬入時の展開 検査	4	受入検査を徹底し、混入物の返却を推進し、 廃棄物排出量の削減できた。また分別を徹 底した。
6 産業廃棄 物収集運 搬量の拡 大	環境管理責任者 取締役 鈴木洋文	新規受注及び 収集運搬会社 へのアプロ ーチ	3	業界全体のビン、缶、ペットボトルの排出 が減っており、新規顧客もあったが、目標出 来なかった。
7 節水	環境管理責任者 取締役 鈴木洋文	洗車水の適正 利用	4	洗車水を適正に使用できた。
8 地域清掃 活動の参 加	環境管理責任者 取締役 鈴木洋文	地域清掃活動 への積極的に 参加	4	成田市主催のゴミ拾いイベントについて、 コロナによる延期もあったが開催時には参 加している。
※・・・評価欄の採点は、90%以上実施：5 70%以上：4 50%以上：3 30%以上：2 未実施：1 該当しない場合：斜線				

10. 環境・社会貢献活動への取り組み

会社周辺の清掃及び地域清掃活動の積極的な参加

- ・会社周辺の毎月1回の清掃
- ・成田市主催の清掃ボランティアへの積極的な参加

①成田市主催市内(成田駅周辺)



②美化運動への参加風景



③成田工場周辺の清掃(除草)作業風景



1 1. 次年度の環境経営目標及び環境活動計画

2024年5月改定

環境経営目標	責任部門 責任者	基準値 (2022 年度)		年度毎環境経営目標・環境活動計画		
				2023 年度	2024 年度	2025 年度
1 電力二酸化炭素排出量削減	環境管理 責任者 鈴木洋文	32,649 kg-CO2 (電力)	基準比 目標値	基準年度以下 32,649kg-CO2	基準年度以下 32,649kg-CO2	基準年度以下 32,649kg-CO2
			環境活動計画	・処理作業効率化の推進 ・エアコン調整による室温管理、服装選び	・処理作業効率化の推進 ・エアコン調整による室温管理、服装選び	・処理作業効率化の推進 ・エアコン調整による室温管理、服装選び
2 産業廃棄物処理量あたりの電力削減	環境管理 責任者 鈴木洋文	データ集計	基準比 目標値	産業廃棄物処理量あたりの電力の把握 圧縮機入替後実績平均値(2月～3月) 60.23kWh/トン	基準年度以下 60.23kWh/トン	基準年度以下 60.23kWh/トン
			環境活動計画	・処理作業効率化の推進	・処理作業効率化の推進	・処理作業効率化の推進
3 車両軽油の二酸化炭素排出量削減	環境管理 責任者 鈴木洋文	200,304 kg-CO2 (軽油)	基準比 目標値	基準年度以下 200,304kg-CO2	基準年度以下 200,304kg-CO2	基準年度以下 200,304kg-CO2
			環境活動計画	・効率的なルートで収集 ・エコドライブの推進	・効率的なルートで収集 ・エコドライブの推進	・効率的なルートで収集 ・エコドライブの推進
4 二酸化炭素排出量削減	環境管理 責任者 鈴木洋文	247,849 kg-CO2 (電力、ガソリン、軽油、灯油)	基準比 目標値	基準年度以下 247,849kg-CO2	基準年度以下 247,849kg-CO2	基準年度以下 247,849kg-CO2
			環境活動計画	・電気使用量削減 ・エコドライブ推進	・電気使用量削減 ・エコドライブ推進	・電気使用量削減 ・エコドライブ推進
5 一般廃棄物の削減	環境管理 責任者 鈴木洋文	1,077kg	基準比 目標値	99% 1,066 k g	98% 1,055 k g	97% 1,045 k g
			環境活動計画	・分別の実施	・分別の実施	・分別の実施
6 中間処理後産業廃棄物の削減	環境管理 責任者 鈴木洋文	78.57 トン	基準比 目標値	99% 77.78 トン	98% 77.00 トン	97% 76.21 トン
			環境活動計画	・回収時の混入チェック ・搬入時の展開検査、分別実施	・回収時の混入チェック ・搬入時の展開検査、分別実施	・回収時の混入チェック ・搬入時の展開検査、分別実施
7 産業廃棄物収集運搬量拡大	環境管理 責任者 鈴木洋文	3,428 トン	基準比 目標値	基準年度以上 3,428 トン	基準年度以上 3,428 トン	基準年度以上 3,428 トン
			環境活動計画	新規受注及び収集運搬会社へのアプローチ	新規受注及び収集運搬会社へのアプローチ	・新規受注及び収集運搬会社へのアプローチ

環境経営目標	責任部門 責任者	基準値 (2022 年度)		年度毎環境経営目標・環境活動計画		
				2023 年度	2024 年度	2025 年度
8 節水	環境管理 責任者 鈴木洋文	管理目標	目標	洗車水の適正利用	洗車水の適正利用	洗車水の適正利用
9 地域清掃活動	環境管理 責任者 鈴木洋文	管理目標	目標	地域清掃活動への積極的に参加	地域清掃活動への積極的に参加	地域清掃活動への積極的に参加

※二酸化炭素排出係数

電力：令和 3 年度東京電力エナジーパートナー0.457kg-CO2/kWh（調整後）、

ガソリン：2.32kg-CO2/L、軽油：2.58kg-CO2/L、灯油：2.49kg-CO2/L

注 1・・・化学物質（PRTR 制度対象）の使用は無いため目標設定していません。

1 2. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟

などの有無

環境法令順守評価を 2024 年 4 月 30 日に行い、問題はなかった。

過去 3 年以上にわたり苦情及び違反、訴訟はない。

（主な環境法令：廃棄物処理法、騒音規制法、振動規制法、フロン排出抑制法等）

1 3. 代表者による全体の評価と見直し

見直し実施日；2024 年 4 月 30 日（見直し期間；2023 年 4 月～2024 年 3 月の 12 か月）

見直しに必要な情報（環境管理責任者の報告）
【環境経営方針】 当社の事業内容と整合している。
【環境目標・環境活動計画】 電力使用量及び燃料使用量が増加した。灯油は事務所棟 1 階で休憩できるようストーブ使用が削減できた。結果として、二酸化炭素排出量はわずかに達成となった。なお、処理効率の向上やエコドライブの推進、産廃の分別徹底も目標達成に貢献していると考えられる。 産業廃棄物処理量あたりの電力使用量の削減についての数値目標を新たに設定した。
変更の必要性の有無・指示事項（代表者）
【環境経営方針】 変更の必要性：変更無し
【目標・活動計画】 変更の必要性：変更有り 産業廃棄物処理量あたりの電力使用量の削減についての数値目標を新たに設定した。
【環境経営システムの各要素、実施体制】 変更の必要性：変更無し